



show コマンド

- [show ap client-trace status](#) (3 ページ)
- [show arp](#) (4 ページ)
- [show avc cft](#) (5 ページ)
- [show avc nbar](#) (6 ページ)
- [show avc netflow flows](#) (7 ページ)
- [show avc status](#) (8 ページ)
- [show boot](#) (9 ページ)
- [show capwap](#) (10 ページ)
- [show capwap client](#) (11 ページ)
- [show capwap client trace](#) (12 ページ)
- [show capwap ids sig](#) (13 ページ)
- [show cdp](#) (14 ページ)
- [show class-map](#) (15 ページ)
- [show cleanair debug](#) (16 ページ)
- [show client statistics](#) (17 ページ)
- [show clock](#) (18 ページ)
- [show configuration](#) (19 ページ)
- [show controller ble](#) (20 ページ)
- [show controllers dot11Radio](#) (22 ページ)
- [show controllers nss status](#) (23 ページ)
- [show controllers wired](#) (24 ページ)
- [show crypto](#) (25 ページ)
- [show debug](#) (26 ページ)
- [show dhcp](#) (27 ページ)
- [show dot11 qos](#) (28 ページ)
- [show filesystems](#) (29 ページ)
- [show flash](#) (30 ページ)
- [show flexconnect](#) (31 ページ)
- [show flexconnect ocap firewall](#) (32 ページ)

- [show flexconnect wlan](#) (33 ページ)
- [show interfaces dot11Radio](#) (34 ページ)
- [show interfaces network](#) (35 ページ)
- [show interfaces wired](#) (36 ページ)
- [show inventory](#) (37 ページ)
- [show ip](#) (38 ページ)
- [show lacp](#) (39 ページ)
- [show logging](#) (40 ページ)
- [show memory](#) (41 ページ)
- [show policy-map](#) (43 ページ)
- [show processes](#) (44 ページ)
- [show processes memory](#) (45 ページ)
- [show rrm](#) (47 ページ)
- [show rrm rogue containment](#) (48 ページ)
- [show rrm rogue detection](#) (49 ページ)
- [show running-config](#) (51 ページ)
- [show security data-corruption](#) (53 ページ)
- [show security system state](#) (54 ページ)
- [show spectrum](#) (56 ページ)
- [show tech-support](#) (57 ページ)
- [show version](#) (58 ページ)
- [show trace dot11_chn](#) (59 ページ)
- [show trace](#) (60 ページ)
- [show wips](#) (61 ページ)

show ap client-trace status

AP クライアント トレースの詳細を表示するには、**showapclient-tracestatus** コマンドを使用します。

```
show ap client-trace { events { all | mac word | system } | skb { drop-list | stats } | status }
```

構文の説明

events	クライアント トレース イベント情報を表示する
all	すべてのクライアント トレース イベントを表示する
system	すべてのシステム イベントを表示する
mac	特定の MAC アドレスのクライアント トレース イベントを表示する
word	特定のクライアントの MAC アドレス
skb	クライアント トレース SKB 情報を表示する
drop-list	クライアント トレース SKB ドロップ リスト情報を表示する
stats	クライアント トレース SKB 統計情報を表示する
status	クライアント トレース設定を表示する

コマンドモード

Privileged EXEC (#)

コマンド履歴

リリース 変更内容
ス

8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

次に、AP クライアント トレースのステータスを表示する例を示します。

```
cisco-wave2-ap# show ap client-trace status
```

show arp

ARP テーブルを表示するには、**show arp** コマンドを使用します。

show arp

構文の説明

arp ARP テーブルを表示する

コマンドモード

User EXEC (>)
Privileged EXEC (#)

コマンド履歴

リリース 変更内容
ス

8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

次に、このコマンドの出力例を示します。

```
cisco-wave2-ap# show arp
Address Age (min)      Hardware Addr
  9.11.8.1             0 84:80:2D:A0:D2:E6
  9.11.32.111          0 3C:77:E6:02:33:3F
```

show avc cft

AVC クライアントフローテーブル情報を表示するには、**show avc cft** コマンドを使用します。

show avc cft word

構文の説明

word Client MAC
address

コマンドモード

User EXEC (>)
Privileged EXEC (#)

コマンド履歴

リリース 変更内容
ス

8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

次に、AVC クライアントフローテーブルを表示する例を示します。

```
cisco-wave2-ap# show avc cft 02:35:2E:03:E0:F2
```

show avc nbar

AVC NBAR 情報を表示するには、**show avc nbar** コマンドを使用します。

show avc nbar {**statistics** |**build** |**version**}

構文の説明

statistics NBAR のビルドの詳細を表示する

build NBAR の統計情報を表示する

version NBAR および PP のバージョンを表示する

コマンドモード

User EXEC (>)

Privileged EXEC (#)

コマンド履歴

リリース 変更内容
ス

8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

次に、AVC NBAR のビルド情報を表示する例を示します。

```
cisco-wave2-ap# show avc nbar build
```

show avc netflow flows

現在キャッシュされており、Cisco WLCに送られるすべてのフローのリストを表示するには、**show avc netflow flows** コマンドを使用します。

show avc netflow flows {download |upload}

構文の説明

download 現在キャッシュされているダウンロードフローのリストを表示する

upload 現在キャッシュされているアップロードフローのリストを表示する

コマンドモード

User EXEC (>)

Privileged EXEC (#)

コマンド履歴

リリー 変更内容
ス

8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

次に、現在キャッシュされているすべてのフローを表示する例を示します。

```
cisco-wave2-ap# show avc netflow flows
```

show avc status

WLAN/VAP ごとの AVC プロビジョニング ステータスのリストを表示するには、**show avc status** コマンドを使用します。

show avc status

コマンド モード

User EXEC (>)

Privileged EXEC (#)

コマンド履歴

リリース 変更内容
ス

8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

次に、WLAN/VAP ごとの AVC プロビジョニング ステータスを表示する例を示します。

```
cisco-wave2-ap# show avc status
```

```
VAP FNF-STATUS AVC-QOS-STATUS
 0 Disabled Disabled
 1 Disabled Disabled
 2 Disabled Disabled
 3 Disabled Disabled
 4 Disabled Disabled
 5 Disabled Disabled
 6 Disabled Disabled
 7 Disabled Disabled
 8 Disabled Disabled
 9 Disabled Disabled
10 Disabled Disabled
11 Disabled Disabled
12 Disabled Disabled
13 Disabled Disabled
14 Disabled Disabled
15 Disabled Disabled
```


show boot

ブート属性を表示するには、**show boot** コマンドを使用します。

show boot

コマンドモード

User EXEC (>)

Privileged EXEC (#)

コマンド履歴

リリース 変更内容
ス

8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

次に、ブート属性を表示する例を示します。

```
cisco-wave2-ap# show boot

BOOT path-list:      part2
Console Baudrate:   9600
Enable Break:       yes
Manual Boot:        no
Memory Debug:       no
Crashkernel:
```

show capwap

CAPWAP オプションを表示するには、**show capwap** コマンドを使用します。

```
show capwap [{ip |mcast |traffic}]
```

構文の説明	client CAPWAP クライアント情報
	ids CAPWAP ID 情報
	ip CAPWAP IP 設定
	location CAPWAP ロケーション情報
	mcast CAPWAP マルチキャスト情報
	pnp PNP 情報
	traffic CAPWAP トラフィック情報

コマンドモード	User EXEC (>) Privileged EXEC (#)
---------	--------------------------------------

コマンド履歴	リリー 変更内容 ス 8.1.111.0 このコマンドが導入されました。
--------	--

次に、CAPWAP マルチキャスト情報を表示する例を示します。

```
cisco-wave2-ap# show capwap mcast
```

show capwap client

CAPWAP クライアント情報を表示するには、**show capwap client** コマンドを使用します。

```
show capwap client {callinfo info |detailrcb |rcb |config |ha |msginfo |timers |traffic}
```

構文の説明

callinfo <i>info</i>	CAPWAP クライアントのコール情報
detailrcb	CAPWAP クライアントの詳細な RCB 情報
rcb	CAPWAP クライアントの RCB 情報
config	CAPWAP クライアントの設定情報
ha	CAPWAP クライアントの HA パラメータ
msginfo	CAPWAP クライアントのメッセージ情報
timers	CAPWAP クライアントのタイマー
traffic	CAPWAP クライアントの 802.11 トラフィック情報

コマンドモード

User EXEC (>)
Privileged EXEC (#)

コマンド履歴

リリー 変更内容
ス

8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

次に、CAPWAP クライアント トラフィック情報を表示する例を示します。

```
cisco-wave2-ap# show capwap client traffic
```

show capwap client trace

CAPWAP トレースを表示するには、**show capwap client trace** コマンドを使用します。

show capwap client trace {clear |delete |disable |save |start |stop}

構文の説明

clear	トレースをクリアする
delete	トレースを削除する
disable	起動時にトレースを無効にする
enable	起動時にトレースを有効にする
save	トレースを保存する
start	トレースを開始する
stop	トレースを停止する

コマンドモード

User EXEC (>)
Privileged EXEC (#)

コマンド履歴

リリー 変更内容
ス
8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

次に、CAPWAP クライアント トレースを表示する例を示します。

```
cisco-wave2-ap# show capwap client trace
```

show capwap ids sig

CAPWAP ID シグネチャを表示するには、**show capwap ids sig** コマンドを使用します。

```
show capwap ids sig [{list |stats}]
```

構文の説明

list シグネチャ リストのエントリ

stats シグネチャ攻撃の統計情報

コマンドモード

User EXEC (>)

Privileged EXEC (#)

コマンド履歴

リリー 変更内容
ス

8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

次に、CAPWAP ID シグネチャの統計情報を表示する例を示します。

```
cisco-wave2-ap# show capwap ids sig stats
```

show cdp

CDP オプションを表示するには、**show cdp** コマンドを使用します。

show cdp {**entry device** *device-name* |**inline_power** |**interface** |**neighbors** |**traffic**}

構文の説明		
	entry device <i>device-name</i>	名前を入力する必要がある特定のネイバー エントリに関する情報
	inline_power	インライン電力ネゴシエーション情報
	interface	CDP インターフェイスのステータスと設定
	neighbors	CDP ネイバー エントリ
	traffic	CDP 統計情報

コマンドモード Privileged EXEC (#)

コマンド履歴 リリリー 変更内容
ス

8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

次に、特定のネイバー エントリに関する情報を表示する例を示します。

```
cisco-wave2-ap# show cdp entry device mydevice
```

show class-map

CPL クラス マップを表示するには、**show class-map** コマンドを使用します。

show class-map

コマンド モード

User EXEC (>)

Privileged EXEC (#)

コマンド履歴

リリース 変更内容
ス

8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

次に、CPL クラス マップを表示する例を示します。

```
cisco-wave2-ap# show class-map
```

show cleanair debug

CleanAir のデバッグ設定を表示するには、**show cleanair debug** コマンドを使用します。

show cleanair debug

コマンドモード	Privileged EXEC (#)
コマンド履歴	リリース 変更内容 ス
	8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

次に、CleanAir のデバッグ設定を表示する例を示します。

```
cisco-wave2-ap# show cleanair debug
```


show client statistics

クライアントの統計情報を表示するには、**show client statistics** コマンドを使用します。

show client statistics *client-mac-address*

構文の説明

client-mac-address クライアントの MAC アドレス

コマンドモード

Privileged EXEC (#)

コマンド履歴

リリー 変更内容
ス

8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

次に、クライアントの統計情報を表示する例を示します。

```
cisco-wave2-ap# show client statistics 70:DB:98:66:34:FA
```

show clock

システムクロックを表示するには、**show clock** コマンドを使用します。

show clock

コマンドモード

User EXEC (>)

Privileged EXEC (#)

コマンド履歴

リリース	変更内容
------	------

8.1.111.0	このコマンドが導入されました。
-----------	-----------------

次に、システムクロックを表示する例を示します。

```
cisco-wave2-ap# show clock
```

show configuration

不揮発性メモリの内容を表示するには、**show configuration** コマンドを使用します。

show configuration

コマンドモード	Privileged EXEC (#)
---------	---------------------

コマンド履歴	リリー 変更内容 ス
--------	---------------

8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

次に、不揮発性メモリの内容を表示する例を示します。

```
cisco-wave2-ap# show configuration
```

show controller ble

Bluetooth Low Energy 無線インターフェイス パラメータ情報を表示するには、**show controller ble** コマンドを使用します。

```
show controller ble ble-interface-number { {broadcast |counters |floor-tag floor-beacon-mac-addr
|interface |local |scan {brief |detail floor-beacon-mac-addr} |timers}
```

構文の説明		
	<i>ble-interface-number</i>	入力する必要がある BLE インターフェイス番号。有効な値は 0
	broadcast	BLE ブロードキャスト サマリー情報を表示する
	counters	BLE トランSPORT カウンタ情報を表示する
	floor-tag <i>floor-beacon-mac-addr</i>	指定する必要がある MAC アドレスを持つフロアビーコンの同期データを表示する
	interface	BLE インターフェイス サマリー情報を表示する
	local	ホスト BLE 無線の同期情報を表示する
	scan brief	簡単な BLE スキャン サマリー情報を表示する
	scan detail <i>floor-beacon-mac-addr</i>	詳細な BLE スキャン サマリー情報を表示する。フロアビーコンの MAC アドレスを指定する必要がある
	timers	BLE タイマー情報を表示する

コマンドモード Privileged EXEC (#)

コマンド履歴 リリース 変更内容
ス

8.7 このコマンドが導入されました。

例

BLE タイマー情報を表示するには、次のコマンドを使用します。

```
cisco-wave2-ap# show controller ble 0 timers
```

```
Timers
-----
Scan timer status      : Running
Scan timer interval    : 10 secs
Scan started at       : 0D:00H:04M:28S ago
Last scan done at     : 0D:00H:00M:06S ago
```

スキャンが想定通りに行われている場合、「Last scan done at」の時間は必ず、設定されているスキャン間隔より短いか、同じです。

show controllers dot11Radio

dot11 インターフェイス情報を表示するには、**show controllers dot11Radio** コマンドを使用します。

```
show controllers dot11Radio dot11-interface-no {antenna |client client-mac-addr |frequency |powercfg
|powerreg |radiostats |rate |vlan |wlan wlan-id}
```

構文の説明	
<i>dot11-interface-no</i>	Dot11Radio インターフェイス番号
antenna	アンテナ設定を表示する
client <i>client-mac-addr</i>	MAC アドレスが指定されているクライアントの詳細を表示する
frequency	周波数情報を表示する
powercfg	設定されている電力情報を表示する
powerreg	送信電力情報を表示する
radio-stats	無線統計情報を表示する
rate	レート情報を表示する
vlan	VLAN サマリーを表示する
wlan <i>wlan-id</i>	指定された WLAN ID の VLAN/WLAN の詳細を表示する

コマンドモード
User EXEC (>)
Privileged EXEC (#)

コマンド履歴
リリー 変更内容
ス
8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

次に、インターフェイス番号 1 の 802.11 インターフェイス情報を表示する例を示します。

```
cisco-wave2-ap# show controllers dot11Radio 1
```

show controllers nss status

NSS 情報を表示するには、**show controllers nss status** コマンドを使用します。

show controllers nss status

コマンドモード

User EXEC (>)

Privileged EXEC (#)

コマンド履歴

リリース 変更内容
ス

8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

次に、NSS 情報を表示する例を示します。

```
cisco-wave2-ap# show controllers nss status
```

show controllers wired

有線インターフェイスを表示するには、**show controllers wired** コマンドを使用します。

show controllers wired *wired-interface-number*

構文の説明	<i>wired-interface-number</i> 有線インターフェイス番号 (0~3)
コマンドモード	Privileged EXEC (#)
コマンド履歴	リリー 変更内容 ス 8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

次に、コントローラの有線インターフェイス (ID が 1) に関する情報を表示する例を示します。

```
cisco-wave2-ap# show controllers wired 1

wired1    Link encap:Ethernet  HWaddr C8:8B:6A:33:59  eMac Status: DOWN
          inet addr:9.11.8.104  Bcast:9.255.255.255  Mask:255.255.255.255
          DOWN BROADCAST RUNNING PROMISC MULTICAST  MTU:2400  Metric:1
          RX packets:38600 errors:0 dropped:1 overruns:0 frame:0
          TX packets:179018 errors:0 dropped:0 overruns:0 carrier:0
          collisions:0 txqueuelen:80
          RX bytes:3812643 (3.6 MiB)  TX bytes:54721869 (52.1 MiB)

Gig Emacl Counters
-----
0 Good octets rx, 0 Bad octets rx, 0 Unicast frames rx,
0 Broadcast frames rx, 0 Multicast frames rx, 0 64 byte frames rx,
0 65_TO_127 byte frames, 0 128_TO_255 byte frames, 0 256_TO_511 byte frames,
0 512_TO_1023 byte frames, 0 1024_TO_MAX byte frames, 0 Good octets tx,
0 Unicast frames tx, 0 Multicast frames tx, 0 Broadcast frames tx,
0 Crc errors sent, 0 Flow control rx, 0 Flow control tx,
0 Rx fifo overrun, 0 Undersized rx, 0 Fragments rx,
0 Oversize rx, 0 Jabber rx, 0 Mac rx error,
0 Bad crc event, 0 Collision, 0 Late collision,
```


show crypto

暗号化属性を表示するには、**show crypto** コマンドを使用します。

show crypto

コマンドモード

User EXEC (>)

Privileged EXEC (#)

コマンド履歴

リリース 変更内容
ス

8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

次に、暗号化属性を表示する例を示します。

```
cisco-wave2-ap# show crypto
```

show debug

有効なデバッグを表示するには、**show debug** コマンドを使用します。

show debug

コマンドモード

User EXEC (>)

Privileged EXEC (#)

コマンド履歴

リリース 変更内容
ス

8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

次に、有効な状態のデバッグを表示する例を示します。

```
cisco-wave2-ap# show debug
```

show dhcp

Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) のステータスを表示するには、**show dhcp** コマンドを使用します。

show dhcp {lease | servers}

構文の説明

lease サーバからリースされている DHCP アドレスを表示する

servers 既知の DHCP サーバを表示する

コマンドモード

User EXEC (>)

Privileged EXEC (#)

コマンド履歴

リリース 変更内容
ス

8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

次に、サーバからリースされている DHCP アドレスのステータスを表示する例を示します。

```
cisco-wave2-ap# show dhcp lease
```

show dot11 qos

802.11 ネットワークの Quality of Service (QoS) パラメータを表示するには、**showdot11qos** コマンドを使用します。

show dot11 qos

コマンドモード	Privileged EXEC (#)
コマンド履歴	リリー 変更内容 ス
	8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

次に、802.11 ネットワークの Quality of Service (QoS) パラメータを表示する例を示します。

```
cisco-wave2-ap# show dot11 qos
```

show filesystems

ファイルシステム情報を表示するには、**show filesystems** コマンドを使用します。

show filesystems

コマンドモード

User EXEC (>)

Privileged EXEC (#)

コマンド履歴

リリース 変更内容
ス

8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

次に、ファイルシステム情報を表示する例を示します。

```
cisco-wave2-ap# show filesystems
```

```
Filesystem          Size      Used Available Use% Mounted on  
/dev/ubivol/storage 57.5M     1.9M     52.6M     4% /storage
```

show flash

フラッシュの内容を表示するには、**show flash** コマンドを使用します。

```
show flash [{cores [detail core-file-name ]|crash |syslogs}]
```

構文の説明	
cores	フラッシュにあるコア ファイルを表示する
detail	コア ファイルの内容を表示する
<i>core-file-name</i>	コア ファイル名
crash	フラッシュにあるクラッシュ ファイルを表示する
syslogs	フラッシュにある syslog ファイルを表示する

コマンドモード
User EXEC (>)
Privileged EXEC (#)

コマンド履歴
リリー 変更内容
ス
8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

次に、フラッシュにあるコア ファイルの詳細を表示する例を示します。

```
cisco-wave2-ap# show flash cores detail filename1
```

show flexconnect

アクセスポイントの FlexConnect 情報を表示するには、**show flexconnect** コマンドを使用します。

```
show flexconnect { calea | cckm | client [aaa-override | counter | priority] | dot11r
| mcast | oeap | pmk | status | vlan-acl | wlan }
```

構文の説明	
calea	CALEA 情報を表示する
cckm	CCKM キャッシュ エントリ情報を表示する
client	クライアント情報を表示する
aaa-override	AAA オーバーライドパラメータを指定する
counter	すべてのクライアントにカウンタを指定する
priority	クライアントの優先順位を指定する
dot11r	802.11r キャッシュ エントリ情報を表示する
mcast	マルチキャスト情報を表示する
oeap	FlexConnect OEAP 情報を表示する
pmk	OKC または PMK キャッシュ エントリ情報を表示する
status	スタンドアロンステータスを表示する
vlan-acl	VLAN ACL マッピングを表示する
wlan	WLAN の設定を表示する

コマンドモード
User EXEC (>)
Privileged EXEC (#)

コマンド履歴
リリー 変更内容
ス
8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

次に、FlexConnect AP のクライアントに関する情報を表示する例を示します。

```
cisco-wave2-ap# show flexconnect client
```

show flexconnect oep firewall

OEAP ファイアウォール情報を表示するには、**show flexconnect oep firewall** コマンドを使用します。

show flexconnect oep firewall [{dmz |filtering |forwarding}]

構文の説明

dmz OEAP ファイアウォールの DMZ 情報を表示する

filtering OEAP ファイアウォールのフィルタリング情報を表示する

forwarding OEAP ファイアウォールのポート フォワーディング情報を表示する

コマンドモード

User EXEC (>)

Privileged EXEC (#)

コマンド履歴

リリース 変更内容
ス

8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

次に、OEAP ファイアウォールの DMZ 情報を表示する例を示します。

```
cisco-wave2-ap# show flexconnect oep firewall dmz
```


show flexconnect wlan

FlexConnect AP モードの WLAN 設定を表示するには、**show flexconnect wlan** コマンドを使用します。

show flexconnect wlan [{l2acl | qos | vlan}]

構文の説明

l2acl WLAN のレイヤ 2 ACL マッピングを指定する

qos WLAN の QoS パラメータを指定する

vlan WLAN の VLAN マッピングを指定する

コマンドモード

User EXEC (>)

Privileged EXEC (#)

コマンド履歴

リリー 変更内容
ス

8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

次に、FlexConnect AP の WLAN レイヤ 2 ACL マッピングを表示する例を示します。

```
cisco-wave2-ap# show flexconnect wlan l2acl
```

show interfaces dot11Radio

802.11 無線のインターフェイス ステータスと設定を表示するには、**show interfaces dot11Radio** コマンドを使用します。

```
show interfaces dot11Radio radio-interface-number { dfs | memory [memory-address length
| firmware] | mumimo wlan-number | sniffer | statistics | wlan wlan-id statistics}
```

構文の説明

radio-interface-number 802.11 無線のインターフェイス番号を指定する。有効な範囲は 0 ~ 1

dfs DFS 統計情報を表示する

memory ダンプ無線メモリを表示する

memory-address メモリ アドレスを指定する。有効な範囲は 0 ~ ffffffff

length 長さを指定する。有効な範囲は 0 ~ 64

firmware ファームウェアのログをダンプする

mumimo マルチユーザの MIMO 統計情報を表示する

wlan-number 有効な範囲が 0 ~ 15 の 802.11 固有の値

sniffer スニファ モードの統計情報を表示する

statistics 802.11 無線の統計情報を表示する

wlan *wlan-id* 指定した VLAN 情報を表示する

コマンドモード

Privileged EXEC (#)

コマンド履歴

リリー 変更内容
ス

8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

次に、802.11 インターフェイス（番号 1）の DFS 統計情報を表示する例を示します。

```
cisco-wave2-ap# show interfaces dot11Radio 1 dfs
```

```
DFS Data:
Radar Detected:          0
Inactive Radar Detected: 0
```

show interfaces network

Linux ネットワーク インターフェイスを表示するには、**show interfaces network** コマンドを使用します。

show interfaces network

コマンドモード	Privileged EXEC (#)
コマンド履歴	リリース 変更内容 ス
	8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

次に、Linux ネットワーク インターフェイスを表示する例を示します。

```
cisco-wave2-ap# show interfaces network
```

show interfaces wired

有線インターフェイスを表示するには、**show interfaces wired** コマンドを使用します。

show interfaces wired *wired-interface-number*

構文の説明	<i>wired-interface-number</i> 有線インターフェイスの番号。有効な範囲は 0 ~ 3
-------	--

コマンドモード	Privileged EXEC (#)
---------	---------------------

コマンド履歴	リリー 変更内容 ス
--------	---------------

8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

次に、有線インターフェイス（番号 1）を表示する例を示します。

```
cisco-wave2-ap# show interfaces wired 1
```

show inventory

物理インベントリを表示するには、**show inventory** コマンドを使用します。

show inventory

コマンドモード

User EXEC (>)

Privileged EXEC (#)

コマンド履歴

リリース	変更内容
------	------

8.1.111.0	このコマンドが導入されました。
-----------	-----------------

次に、物理インベントリを表示する例を示します。

```
cisco-wave2-ap# show inventory
```

```
NAME: AP2800, DESCR: Cisco Aironet 2800 Series (IEEE 802.11ac) Access Point  
PID: AIR-AP2802I-D-K9 , VID: V01, SN: XXXXXXXXXXXX
```

show ip

IP 情報を表示するには、**show ip** コマンドを使用します。

```
show ip {access-lists | interface brief | route | tunnel [eogre {domain | forwarding-table | gateway} | fabric | summary]}
```

構文の説明

access-lists	IP アクセス リストを表示する
interface	IP インターフェイスのステータスおよび設定を表示する
brief	IP ステータスおよび設定の概要を表示する
route	IP ルーティング テーブルを表示する
tunnel	IP トンネル情報を表示する
eogre	EoGRE トンネル情報を表示する
domain	EoGRE トンネル ドメイン情報を表示する
forwarding-table	EoGRE トンネルのカプセル化およびカプセル化解除の情報を表示する
gateway	EoGRE トンネルのゲートウェイ情報を表示する
fabric	IP ファブリック トンネルの情報を表示する
summary	すべてのトンネルの情報を表示する

コマンドモード

User EXEC (>)
Privileged EXEC (#)

コマンド履歴

```
リリー 変更内容  
ス  
8.1.111.0 このコマンドが導入されました。
```

次に、IP アクセス リストについての情報を表示する例を示します。

```
cisco-wave2-ap# show ip access-lists
```

show lacp

Link Aggregation Control Protocol (LACP) オプションを表示するには、**show lacp** コマンドを使用します。

show lacp {**counters** [**internal** |**neighbors**]}

構文の説明

counters トラフィック情報を表示する

internal 内部情報を表示する

neighbors LACP ネイバー エントリを表示する

コマンドモード

Privileged EXEC (#)

コマンド履歴

リリー 変更内容
ス

8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

次に、LACP トラフィック情報を表示する例を示します。

```
cisco-wave2-ap# show lacp counters
```

show logging

ロギング バッファの内容を表示するには、**show logging** コマンドを使用します。

show logging

コマンドモード	Privileged EXEC (#)
コマンド履歴	リリース 変更内容 ス
	8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

次に、ロギング バッファの内容を表示する例を示します。

```
cisco-wave2-ap# show logging
```


show memory

アクセスポイントのメモリ使用量を表示するには、**show memory** コマンドを使用します。

show memory [{detail |pool |summary}]

構文の説明

detail	詳細なシステムのメモリ使用量を表示する
pool	システムのメモリ プールを表示する
summary	システムのメモリ使用量の統計情報を表示する

コマンドモード

Privileged EXEC (#)

コマンド履歴

リリー 変更内容
ス

8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

次に、システムのメモリ使用量の統計情報を表示する例を示します。

```
cisco-wave2-ap# show memory
Memory summary:
MemTotal:      1030608 kB
MemFree:       713832 kB
MemAvailable:  710492 kB
Buffers:       0 kB
Cached:        88224 kB
SwapCached:    0 kB
Active:        28932 kB
Inactive:      82872 kB
Active(anon):  28900 kB
Inactive(anon): 82812 kB
Active(file):  32 kB
Inactive(file): 60 kB
Unevictable:   0 kB
Mlocked:      0 kB
SwapTotal:     0 kB
SwapFree:      0 kB
Dirty:         0 kB
Writeback:     0 kB
AnonPages:    23580 kB
Mapped:       11380 kB
Shmem:        88132 kB
Slab:         132140 kB
SReclaimable: 3368 kB
SUnreclaim:   128772 kB
KernelStack:  864 kB
PageTables:   748 kB
NFS_Unstable: 0 kB
Bounce:       0 kB
WritebackTmp: 0 kB
CommitLimit:  515304 kB
Committed_AS: 193960 kB
```

show memory

```
VmallocTotal: 1024000 kB
VmallocUsed: 69808 kB
VmallocChunk: 915324 kB
```

System Memory:

	total	used	free	shared	buffers
Mem:	1030608	316848	713760	0	0
-/+ buffers:		316848	713760		
Swap:	0	0	0		

show policy-map

アクセス ポイント上のポリシー マップを表示するには、**show policy-map** コマンドを使用します。

show policy-map

コマンド モード	Privileged EXEC (#)
コマンド履歴	リリース 変更内容 8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

次に、アクセス ポイント上のポリシー マップを表示する例を示します。

```
cisco-wave2-apshow policy-map
```

show processes

プロセス使用率の詳細を表示するには、**show processes** コマンドを使用します。

showprocesses {*cpu* *cpu-number* | **dmalloc** {*capwap* | *wcp*} | **status**}

構文の説明	
cpu <i>cpu-number</i>	プロセスの指定された CPU の使用率を表示する。CPU 番号の値の有効な範囲は 0 ~ 3
dmalloc	dmalloc プロセスのプロセス使用率を表示する
capwap	CAPWAP の dmalloc 統計情報を表示する
wcp	WCP の dmalloc 統計情報を表示する
status	watchdog プロセスのステータスを表示する

コマンドモード Privileged EXEC (#)

コマンド履歴

リリース 変更内容
ス

8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

次に、**watchdog** プロセスのステータスを表示する例を示します。

```
cisco-wave2-ap# show processes status
      Process           Alive           Monitored
      capwapd           True            True
      switchdrvr       True            False
      wcpd              True            True
      kclick            True            True
      cleanaird         True            True
      mrvl fwd          True            True
```

show processes memory

アクセスポイント上のプロセスを表示するには、**show processes memory** コマンドを使用します。

show processes memory {maps|smaps} pid pid-number

構文の説明	maps	プロセスのマップを表示する
	smaps	プロセスの smaps を表示する
	pid <i>pid-number</i>	指定する必要があるプロセス ID

コマンドモード Privileged EXEC (#)

コマンド履歴 リリース 変更内容

8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

次に、アクセスポイント上のメモリを利用するプロセスのリストを表示する例を示します。

```
cisco-wave2-ap# show processes memory

Mem total:1030608 anon:23876 map:11424 free:712728
slab:132748 buf:0 cache:88284 dirty:0 write:0
Swap total:0 free:0
  PID  VSZ^VSZRW  RSS (SHR)  DIRTY (SHR)  STACK  COMMAND
  6227 56500 53464 1168 732 1144 732 132 /usr/sbin/mrvl fwd
  6283 27536 20668 13032 2400 13032 2400 132 /usr/sbin/capwapd
  6297 24880 10612 14536 1376 14536 1376 132 wcpd
  6255 9612 6600 1508 1052 1508 1052 132 /usr/sbin/cleanaird
  5122 9556 4144 2664 2012 2664 2012 132 /usr/bin/capwap_brain
29097 7148 1536 3560 2392 3556 2388 132 /usr/sbin/cisco_shell
 3142 6828 1216 2992 2264 2992 2264 132 /usr/sbin/cisco_shell
 5106 4588 404 1912 1644 1912 1644 132 /usr/bin/fastcgi -s /tmp/fastcgi_sock
 5108 4588 404 1912 1644 1912 1644 132 /usr/bin/slowcgi -s /tmp/slowcgi_sock

 6084 4544 452 928 360 928 360 132 /usr/sbin/lighttpd -f /etc/lighttpd.conf

 6214 3692 344 1420 960 1420 960 132 tamd_proc ap-tam 1 0 -debug err
 6213 3556 340 1460 1104 1460 1104 132 tams_proc -debug err
 6133 3396 400 1196 976 1196 976 132 /usr/bin/poder_agent
 4689 3176 336 1012 812 1012 812 132 /usr/bin/sync_log /storage/syslogs/13
 6143 3140 304 1428 1204 1428 1204 132 /usr/bin/failover
 4716 3136 284 616 436 616 436 132 watchdogd
 6121 3116 280 988 820 988 820 132 bigacl_d
 5084 3112 272 952 804 952 804 132 /usr/bin/led_core
 6181 1884 320 1044 260 1044 260 132 perl /usr/bin/drt.pl
 1 1596 196 492 412 492 412 132 init
30914 1596 196 428 344 428 344 132 top -m -b -n 1
 6145 1596 196 248 176 248 176 132 {S80cisco} /bin/sh /etc/init.d/S80cisco
```

```
start
30912 1592 192 424 356 424 356 132 {show_process_me} /bin/ash
/usr/bin/cli_scripts/show_process_memory.sh 0 0 0 0 0 0 0 0 0
30911 1592 192 400 336 400 336 132 /bin/sh -c
/usr/bin/cli_scripts/show_process_memory.sh 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | more
4684 1592 192 368 304 368 304 132 syslogd -S -s 100 -b 1 -L -R
255.255.255.255
30913 1592 192 332 264 332 264 132 more
4688 1584 184 344 284 344 284 132 klogd
4686 1584 184 320 264 320 264 132 printkd
30906 1584 184 284 228 284 228 132 sleep 10
29085 1452 332 640 416 640 416 132 /usr/sbin/dropbear -E -j -k -d
/storage/dropbear/dropbear_dss_host_key -r /storage/dropbear/dropbear_rsa_host_key
6209 1384 264 416 364 416 364 132 /usr/sbin/dropbear -E -j -k -d
/storage/dropbear/dropbear_dss_host_key -r /storage/dropbear/dropbear_rsa_host_key
8411 1096 212 444 336 444 336 132 dnsmasq -C /etc/dnsmasq.host.conf
6115 1096 212 436 340 436 340 132 dnsmasq -C /etc/dnsmasq.vaperr.conf
```

show rrm

Radio Resource Management (RRM) プロパティを表示するには、**showrrm** コマンドを使用します。

```
show rrm {hyperlocation [level-list] | neighbor-list [details] | receive {configuration | statistics}}
```

構文の説明

hyperlocation <i>level-list</i>	AP の Cisco Hyperlocation のステータスを表示する
neighbor-list	neighbor-list の統計情報を表示する
receive	AP の Receive Signal Strength Indicator (RSSI)
rogue	不正関連情報を表示する

コマンドモード

Privileged EXEC (#)

コマンド履歴

リリー 変更内容
ス

8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

次に、HyperLocation のレベル 1 チャンネル スキャン リストを表示する例を示します。

```
cisco-wave2-ap# show rrm hyperlocation level1-list
Level-1 List for 2.4GHz Band
=====
Channel   Width           Serving MAC      Max Clients
-----   -
Level-1 List for 5GHz Band
=====
Channel   Width           Serving MAC      Max Clients
-----   -
```

show rrm rogue containment

アクセスポイントでの不正の阻止情報を表示するには、**show rrm rogue containment** コマンドを使用します。

show rrm rogue containment {ignore|info} Dot11Radio radio-interface-number

構文の説明	ignore	無視するよう設定されている不正 AP のリストを表示する
	info	AP の不正の阻止の設定および統計情報を表示する
	Dot11Radio	Dot11Radio インターフェイス キーワードを指定する
	radio-interface-number	無線インターフェイスのロット。有効な値は 0 および 1

コマンドモード Privileged EXEC (#)

コマンド履歴 リリー 変更内容
ス

8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

次に、802.11 インターフェイス（番号 1）の不正の阻止および統計情報を表示する例を示します。

```
cisco-wave2-ap# show rrm rogue containment info Dot11Radio 1
Rogue Containment Info and Stats for slot 1:
ssid client-addr contain-type channels

Request Status count
Submit 0
Success 0
Timeout 0
Error 0
Tuned 0
Flushed 0
Bad Channel 0
Tail Dropped 0
Cancelled 0
NDP DFS Tx Cancelled 0
Tx Failed 0
Created 0
```


show rrm rogue detection

RRM 不正検出の設定パラメータを表示するには、**showrrmroguedetection** コマンドを使用します。

show rrm rogue detection {adhoc|ap|clients|config|rx-stats} **Dot11Radio** *radio-interface-number*

構文の説明	パラメータ	説明
	adhoc	802.11 無線スロットのマスターアドホック不正 AP リストを表示する。 有効な値は 0 および 1
	ap	802.11 無線スロットの AP の不正検出パラメータを表示する。有効な値は 0 および 1
	clients	不正なクライアントのマスター リストを表示する
	config	AP 上の不正検出の設定を表示する
	rx-stats	AP の 802.11 インターフェイスでの不正検出受信の統計情報を表示する
	Dot11Radio	802.11 無線インターフェイスを指定する
	<i>radio-interface-number</i>	802.11 無線インターフェイス番号。有効な値は 0 および 1

コマンドモード Privileged EXEC (#)

コマンド履歴 リリー 変更内容
ス

8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

次に、RRM 不正検出の設定の詳細情報を表示する例を示します。

```
cisco-wave2-ap# show rrm rogue detection config
```

```
Rogue Detection Configuration for Slot 0:
Rogue Detection Mode : Enabled
Rogue Detection Report Interval : 10
Rogue Detection Minimum Rssi : -90
Rogue Detection Transient Interval : 0
Rogue Detection Flex Contain : Disabled
Rogue Detection Flex Contain Adhoc : Disabled
Rogue Detection Flex Contain SSID : Disabled
Rogue Containment Autorate : Disabled
Scan Duration : 180000
Channel Count : 11
Transient Threshold : 0
```

```
Rogue Detection Configuration for Slot 1:
Rogue Detection Mode : Enabled
Rogue Detection Report Interval : 10
Rogue Detection Minimum Rssi : -90
Rogue Detection Transient Interval : 0
```

```
Rogue Detection Flex Contain : Disabled  
Rogue Detection Flex Contain Adhoc : Disabled  
Rogue Detection Flex Contain SSID : Disabled  
Rogue Containment Autorate : Disabled  
Scan Duration : 180000  
Channel Count : 25  
Transient Threshold : 0
```

show running-config

アクセスポイントの現在の実行コンフィギュレーションの内容を表示するには、**show running-config** コマンドを使用します。

show running-config

コマンドモード	Privileged EXEC (#)
コマンド履歴	リリー 変更内容 ス 8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

次に、アクセスポイントの現在の実行コンフィギュレーションの内容を表示する例を示します。

```
cisco-wave2-ap# show running-config

AP Name                : ap1540
Admin State            : Enabled
AP Mode                : Local
AP Submode             : None
Location               : default location
Reboot Reason          : Config Mwar
Primary controller name : cisco_3504
Primary controller IP   : <controller-ip-address>
Secondary controller name :
Secondary controller IP :
Tertiary controller name :
Tertiary controller IP  :
Controller from DHCP offer : <controller-dhcp-server-address>
Controller from DNS server : <controller-dns-server-address>
AP join priority        : 1
IP Prefer-mode          : IPv4
CAPWAP UDP-Lite         : Unconfigured
Last Joined Controller name: wlc3504
DTLS Encryption State   : Disabled
Discovery Timer         : 10
Heartbeat Timer         : 30
CDP State               : Enabled
Watchdog monitoring     : Enabled
IOX                     : Disabled
RRM State               : Enabled
LSC State               : Disabled
SSH State               : Enabled
AP Username             : admin
Session Timeout         : 0
Extlog Host             : 0.0.0.0
Extlog Flags            : 0
Extlog Status Interval : 0
Syslog Host             : <syslog-host-ip-address>
Syslog Facility         : 0
Syslog Level            : errors
Core Dump TFTP IP Addr  :
Core Dump File Compression : Disabled
Core Dump Filename      :
```

```
Client Trace Status      : Enabled(All)
Client Trace All Clients : Enabled
Client Trace Filter      : 0x0000000E
Client Trace Out ConsoleLog: Disabled
WLC Link LAG status     : Disabled
AP Link LAG status      : Disabled
AP WSA Mode              : Disabled
```

show security data-corruption

データ不整合エラーを表示するには、**show security data-corruption** コマンドを使用します。

show security data-corruption

構文の説明	このコマンドには引数またはキーワードはありません。				
コマンドモード	Privileged EXEC (#)				
コマンド履歴	<table><thead><tr><th>リリース</th><th>変更内容</th></tr></thead><tbody><tr><td>8.7</td><td>このコマンドが導入されました。</td></tr></tbody></table>	リリース	変更内容	8.7	このコマンドが導入されました。
リリース	変更内容				
8.7	このコマンドが導入されました。				

例

次に、データ不整合エラーを表示する例を示します。

```
cisco-wave2-ap# show security data-corruption
```

show security system state

システムレベルのセキュリティの現在の状態を表示するには、**show security system state** コマンドを使用します。

show security system state

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

コマンドモード

Privileged EXEC (#)

コマンド履歴

リリー 変更内容
ス

8.7 このコマンドが導入されました。

例

システムレベルのセキュリティの現在の状態を表示するには、次のコマンドを使用します。

```
cisco-wave2-ap# show security system state
```

```
XSPACE:
          Non-Executable stack:    Yes
          Non-Executable heap:     Yes
          Non-Writable text:        Yes

OSC:
          Version:                  1.1.0

SafeC:
          Version:                  3.1.1
```

次の表で、この出力に表示される重要なフィールドを説明します。

表 1: *show security system state* のフィールドの説明

フィールド	説明
Non-Executable stack	システムがスタックからの実行を防止するかどうかを示す
Non-Executable heap	システムがヒープからの実行を防止するかどうかを示す
Non-Writable text	システムがテキスト セクションへの書き込みを防止するかどうかを示す
OSC version	アプリケーションで使用されている OSC ライブラリのバージョンを示す

フィールド	説明
SafeC version	アプリケーションで使用されている SafeC ライブラリのバージョンを示す

show spectrum

Spectrum ファームウェアの show コマンドを表示するには、**show spectrum** コマンドを使用します。

show spectrum {list |recover |status }

構文の説明	list Spectrum FW データ ファイルのリストを表示する
	recover Spectrum FW の回復カウントを表示する
	status Spectrum FW のステータスを表示する
コマンドモード	Privileged EXEC (#)
コマンド履歴	リリース 変更内容 8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

次に、Spectrum ファームウェアのステータスを表示する例を示します。

```
cisco-wave2-ap# show spectrum status

Spectrum FW status slot 0:
  version: 1.15.4
  status:  up, crashes 0, resets 0, radio reloads 0
  load:    37.00  34.75  33.50  33.25
  NSI Key: 26c1bd25893a4b6dd3a00fe71735d067
  NSI:     not configured
  reg_wdog: 255 26309 0
  dfs_wdog: 0
  dfs_freq: 0
Spectrum FW status slot 1:
  version: 1.15.4
  status:  up, crashes 0, resets 0, radio reloads 0
  load:    37.25  38.00  38.75  39.00
  NSI Key: 26c1bd25893a4b6dd3a00fe71735d067
  NSI:     not configured
  reg_wdog: 255 26309 0
  dfs_wdog: 0
  dfs_freq: 0
```


show tech-support

システム情報を表示する show コマンドを自動的に実行するには、**showtech-support** コマンドを使用します。

show tech-support

コマンドモード	Privileged EXEC (#)
コマンド履歴	リリース 変更内容 ス
	8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

次に、システム情報を表示する show コマンドを自動的に実行する例を示します。

```
cisco-wave2-ap# show tech-support
```

show version

AP のソフトウェアのバージョン情報を表示するには、**show version** コマンドを使用します。

show version

コマンドモード	Privileged EXEC (#)
コマンド履歴	リリース 変更内容 ス
	8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

次に、AP のソフトウェアのバージョン情報を表示する例を示します。

```
cisco-wave2-ap# show version
```

show trace dot11_chn

AP の 802.11 チャンネルの off-channel イベントを表示するには、**show tracedot11_chn** コマンドを使用します。

show trace dot11_chn {enable |disable |statistics}

構文の説明

enable 802.11 無線 0 および 1 の off-channel イベントの表示を有効にする

disable 802.11 無線 0 および 1 の off-channel イベントの表示を無効にする

statistics 802.11 無線 0 および 1 の off-channel イベントの統計情報を表示する

コマンドモード

Privileged EXEC (#)

コマンド履歴

リリー 変更内容
ス

8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

例

次に、802.11 無線の off-channel イベントの統計情報を表示する例を示します。

```
cisco-wave2-ap# show trace dot11_chn statistics

Dot11Radio0 Off-Channel Statistics:
total_count in_prog_count last-chan last-type last-dur
           0             0         0         0         0

Dot11Radio1 Off-Channel Statistics:
total_count in_prog_count last-chan last-type last-dur
           0             0         0         0         0
```

show trace

AP のトレース ログを表示するには、**showtrace** コマンドを使用します。

```
show trace
```

コマンドモード

Privileged EXEC (#)

コマンド履歴

リリース 変更内容
ス

8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

次に、AP のトレース ログを表示する例を示します。

```
cisco-wave2-ap# show trace
```

show wips

wIPS モードに設定されている AP の詳細を表示するには、**showwips** コマンドを使用します。

```
show wips {alarm alarm-id|analyzer|buffer|channel channelno|infrastructure-device|neighbors
|node mac mac-address|node number number|object policy policy-id|policy ssid|session
mac-address|stats|violation node mac-address|violation channel channel-number}
```

構文の説明

alarm	AP が wIPS モードに設定されている場合に、設定されているアラームの統計情報を表示する。有効な値は 0 ~ 255
<i>alarm-id</i>	アラーム ID。有効な値は 0 ~ 255
analyzer	アナライザ関連の統計情報を表示する
buffer	バッファの統計情報を表示する
channel	チャンネル関連の統計情報を表示する
<i>channelno</i>	チャンネル番号。有効な値は 0 ~ 255
infrastructure-device	AP のインフラストラクチャ情報を表示する
neighbors	ネイバーの統計情報を表示する
node	AP のノード情報を表示する
mac <i>mac-address</i>	ノードの MAC アドレス
node	ノード
number <i>number</i>	ノード番号。有効な値は 1 ~ 500
object	AP オブジェクトストア
policy { <i>policy-id</i> <i>ssid</i> }	AP ポリシー。ポリシー ID またはポリシー SSID のいずれかを指定する必要がある
session <i>mac-address</i>	ノードセッションの詳細を表示する。ノードの MAC アドレスを入力する必要がある
stats	AP の統計情報を表示する
violation	AP 違反をトラッキングする
node <i>mac-address</i>	ノードベースの違反をトラッキングする
channel <i>channel-number</i> <i>alarm-id</i>	チャンネルベースの違反をトラッキングする。チャンネル番号とアラーム ID を入力する必要がある

コマンドモード	Privileged EXEC (#)
---------	---------------------

コマンド履歴	リリー 変更内容 ス
--------	---------------

8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

次に、AP の wIPS 統計情報を表示する例を示します。

```
cisco-wave2-ap# show wips stats
```